

平成30年度

環境活動レポート



対象期間 : 平成30年 4月～平成31年 3月

発行年月日 : 令和1年10月1日

花巻市清掃株式会社

目 次

1 環境方針	1
2 事業概要&認証登録範囲	2
3 実施体制	3
4 環境目標	4
5 環境目標の実績	5
6 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	6~8
7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	8
8 代表者による全体評価と見直し結果	9
9 情報公開事項	10~11

1 環境方針

《環境理念》

「清らかな水と美しい環境を守る」

花巻市清掃株式会社は創業当時から地域の環境保全の一端を担ってまいりました。当社はこの美しい自然環境を未来に引き継ぎ、持続可能な循環型社会構築のためし尿汲取り業務、廃棄物収集運搬、浄化槽の保守点検、清掃事業を通し、地球の環境保全に貢献します。また住みよい環境を維持できるよう地球環境の保全と温暖化防止に配慮した事業活動を行います。

《環境保全への行動指針》

- 1 エコドライブを実践し、省エネとCO2排出の削減に取り組みます。
- 2 節電、節水を心掛け、資源の無駄を省きます。
- 3 廃棄物の減量、再使用、再生利用の促進に取り組みます。
- 4 グリーン購入を推進し、環境負荷軽減に努めます。
- 5 取組や教育を通し社員の資質を高めます。
- 6 事業活動に関する法規制等は確実に遵守することを誓約いたします。

制定日：平成27年6月1日

花巻市清掃株式会社

代表取締役会長 伊藤 明子

2 事業概要 & 認証登録範囲

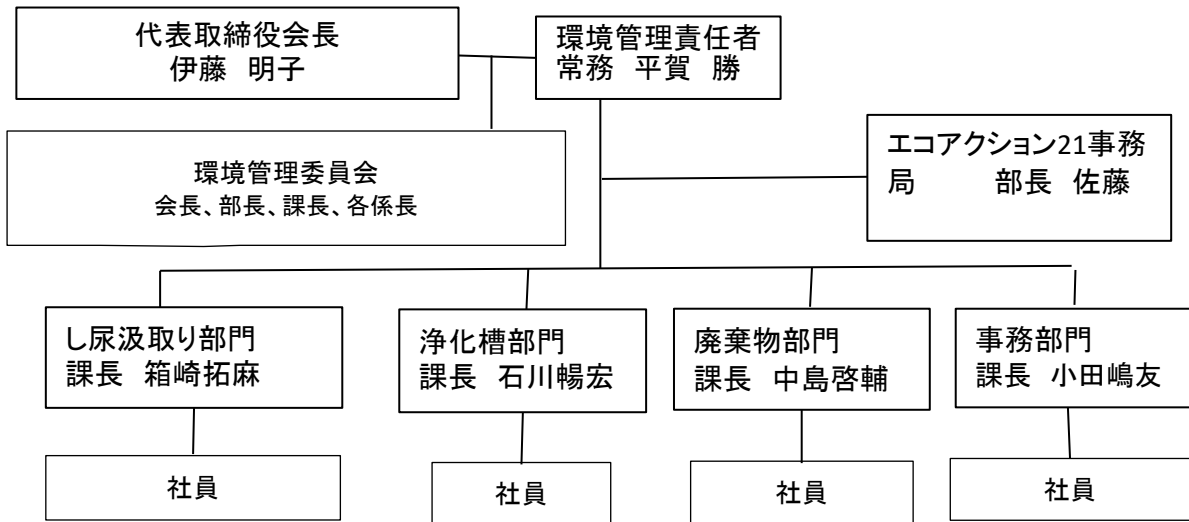
- 1 名称及び代表者名
花巻市清掃株式会社
代表取締役会長 伊藤 明子
- 2 所在地
岩手県花巻市諏訪104番地1
- 3 環境管理責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者 部長 平賀 勝利 TEL: 0198-23-4203
担当者 主任 小本 芳裕 TEL: 0198-23-4203
- 4 事業活動の内容
 1. 浄化槽保守点検、清掃業務
許可番号 浄化槽保守点検業 岩手県27(登)中第3号
浄化槽清掃業 花巻市第334-1号
 2. 廃棄物収集運搬業
 - (1) 一般廃棄物収集運搬業
許可番号 一般廃棄物処理業許可証 花巻市第201-12号
 - (2) 産業廃棄物収集運搬業
許可番号 産業廃棄物収集運搬業許可証 第00312001988号
特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証 第00352001988号
- 5 事業規模
資本金 30百万円
売上 30年度(4月~3月) 271百万円

廃棄物受託量
産業廃棄物 160,122t
一般廃棄物 20,622,309t

従業員数 29名
延べ床面積 813.58 m²
敷地面積 2963.59 m²
- 6 認証登録範囲
全組織・全事業活動が認証登録範囲
- 7 営業範囲
主に花巻市一円
- 8 社歴
昭和45年 9月 し尿汲取り業務を目的として創業
平成 4年 1月 岩手県浄化槽保守点検業者の登録
平成 4年 4月 花巻市浄化槽清掃業許可を取得
平成 5年 2月 岩手県産業廃棄物収集運搬許可を取得
平成 5年 5月 岩手県特別管理産業廃棄物収集運搬許可を取得

3 実施体制

1 組織



2 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表者(会長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 環境管理責任者を任命。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境方針の策定。
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> 委員長は社長とし、環境管理責任者が召集する。 環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境責任者は各部門で実施する。 内部監査の代りに、計画の進捗状況・ガイドラインへの適合状況を審議し、不適合・不具合がある場合は代表者、環境管理責任者に是正を勧告する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理。 環境活動実績の確認、評価。 環境活動の取組結果を代表者及び環境管理委員会へ報告。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 環境活動レポートの作成、公開。 取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。
環境責任者	<ul style="list-style-type: none"> 担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。 省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。 従業員に対する教育訓練の実施
全社員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

4 環境目標

1 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	平成29年度 (基準年)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	239,601	240,288	239,601	249,087
購入電力使用量	k w h	17,792	19,399	17,792	20,245
ガソリン・軽油使用量	L	86,016	86,271	86,016	91,405
灯油使用量	L	2,198	1,785	2,198	1,265
L P G使用量	m ³	23.0	23.0	23.0	27.9
受託産業廃棄物 (収集運搬)	t	179.434	97.846	179.434	160,122
受託一般廃棄物 (収集運搬)	t	24,056.760	24,745.694	24,056.760	20,622,309
産業廃棄物排出量	t	0.940	0.082	0.940	1,144
一般廃棄物排出量	t	0.538	0.636	0.538	0.852
総排水量	m ³	385	431	385	524
グリーン購入	品種	59	39	59	67
地域貢献	回	未把握	未把握	未把握	未把握

注: 排水量の測定はしていないので、水使用量から散水量を削減して求めた。

購入電力の二酸化炭素排出係数は環境省報道発表(H26/12)の東北電力の実排出係数 0.591kg-CO₂/kwhを使用。
平成30年度目標値見直しで、従前基準年度平成27年度から平成29年度としました。

2 環境目標の設定

当社では、平成29年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

項目	基準年度実績値		中期目標(内単年度目標)			
	実績値	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
二酸化炭素排出量	239,601	kg-CO ₂	0%削減	1%削減	2%削減	3%削減
購入電力使用量	17,792	kwh	0%削減	1%削減	2%削減	3%削減
ガソリン使用量	7,255	L	0%削減	1%削減	2%削減	3%削減
軽油使用量	78,761	L	0%削減	1%削減	2%削減	3%削減
灯油使用量	2,198	L	0%削減	1%削減	2%削減	3%削減
L P G使用量	23.0	m ³	0%削減	1%削減	2%削減	3%削減
産業廃棄物排出量	0.940	t	0%削減	1%削減	2%削減	3%削減
一般廃棄物排出量	0.538	t	0%削減	1%削減	2%削減	3%削減
総排水量	385	m ³	0%削減	1%削減	2%削減	3%削減
グリーン購入	59	品種	0%増加	1%増加	2%増加	3%増加
社員教育	4	回数	2	2	2	2

5 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、平成30年4月から平成31年3月までの実績についての評価結果を報告いたします。(以下、評価結果等について簡潔にコメントする)。

表3 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	H29年度	当該年度			環境目標の達成状況
		基準年	削減(増加)	目標値	実績値	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	239,601	0%	239,601	249,087	△
購入電力使用量	k w h	17,792	0%	17,792	20,245	×
ガソリン使用量	L	7,255	0%	7,255	7,505	○
軽油使用量	L	78,761	0%	78,761	83,900	△
灯油使用量	L	2,198	0%	2,198	1,265	○
L P G使用量	m ³	23.0	0%	23.0	27.9	×
産業廃棄物排出量	t	0.940	0%	0.940	1,144	○
一般廃棄物排出量	t	0.538	0%	0.538	0.852	×
総排水量	m ³	385	0%	385	385	○
グリーン購入	品種	59.0	0%	59	67	○

○:評価できる

△:まずまず評価できる。 _____ ×:評価できない

環境活動の状況

(1)	二酸化炭素排出量	<p>前年度からの課題にあがっていた業務拡大による使用量の増加が、顕著にみられた。 業務内容として移動距離の増加、車両の増加、車両点検・整備の影響が考えられる。 来年度は、平成30年度の値を基準値とし令和元年度分の推移を見守りたい。 また、走行距離と燃料との対比でみた場合、29年度と30年度の燃費は、良い。</p>
(2)	購入電力使用量	
(3)	ガソリン使用量	
(4)	軽油使用量	
(5)	灯油使用量	
(6)	L P G使用量	
(7)	産業廃棄物排出量	
(8)	一般廃棄物排出量	
(9)	総排水量	
(10)	グリーン購入	

6. 環境活動計画 および、取組結果とその評価、次年度の取組内容

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取組んでおります。

取組の実施状況の評価結果は、表4、5のとおりです。

(1)取組結果の評価

表4 主な環境活動計画の実施状況の評価

項目		実施状況の評価	達成度
二酸化炭素排出量の抑制	照明	照明器具等の清掃をする。	△
	冷暖房	温度設定の呼びかけをするものの徹底できなかった。	△
	節電	社員の節電の意識は上がっている。	○
	車両その他	エコ運転の重要性は認識している。	△
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	分別を徹底することにより、分別が出来ている。	○
	産業廃棄物	在庫管理の徹底を呼びかけることにより抑制につながった。	○
節水・排水	用水・排水	洗車時の節水を意識ができてきているが更なる取り組みが必要。	△
グリーン購入		事務用品のグリーン商品への購入意識を高めていく。	○

○:評価できる、△:まずまず評価できる、×:評価できない

表5 主な環境活動計画の取組内容と評価

項目	取組内容	評価	備考	
二酸化炭素排出量の抑制	照明	①使用していない場所の、照明消灯を確実に実行する。	○	
		②事務室の部分照明を実行する。	○	
		③照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している。	△	徹底を呼びかける。
	冷暖房	①冷暖房の温度(冷房28℃、暖房20℃)を順守する。(部屋の温度)	○	
		②空調を必要な地域・時間帯に限定する。	△	時間まで限定できず
		③使用していない空調は停止している。	○	
		④ドアの開け放しはしない。	○	
	灯油、LPG	①冷暖房の温度(冷房28℃、暖房20℃)を順守する。(環境に合わせる)	○	
		②温風ヒーター使用時は天井の扇風機も作動させ空気を循環させる。	△	徹底を呼びかける。
		③お湯が沸騰したらすぐ止める。	○	
	節電	①残業の時は必要な個所のみ点灯し、業務に必要なない箇所は消灯とする。	○	
		②昼休みなど、休憩時不必要な箇所は消灯する。パソコンの電源は切る。	○	
③パソコン等のOA機器や照明器具などの省エネルギー型への切り替えに取組んでいる。		○		
④作業着の洗濯後の乾燥は基本的に自然乾燥にしている。		○		
	①車両のアイドリングストップを実践する。	△	エンジンをかけたままでの作業が多	

車 輛 其 他	②急発進・急加速はしない。	△	徹底を呼びかける。	
	③空ぶかしはしない。	○		
	④タイヤの空気圧は適正值に保つように定期的に調整する。	○		
	⑤低公害車への切り替えに取り組んでいる。	△	今後進めていきたい	
廃 棄 物 の 排 出 抑 制	一 般 廃 棄 物	①書類の内容やレイアウトを見直し、枚数を少なくする	△	書類の見直しまでできてい
		②同じ内容の資料や書類の写しは1冊にまとめ、複数人で利用する	△	資料の削減に努める
		③帳簿見直しによる印刷物の削減	△	システム化が進んでくる
		④コピーをする前に、コピー機の設定の確認を行い、ミスコピーを減らす	△	
		⑤コピーは最小限の枚数を行い、余分なコピーは行わない	△	
		⑥使用済み用紙(片面コピー)の裏面を利用する。	○	
		⑦使用済コピー用紙、段ボール、雑誌、新聞紙等は、所定の場所に分別保管する。	○	
		⑧分別した紙ごみは、再生資源業者に引き渡し、リサイクルする。	○	
		⑨紙・金属缶等は、所定の保管容器に確実に分別する。	○	
		⑩コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルを推進する。	○	
産 業 廃 棄 物	①産業廃棄物管理票(マニフスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行う。	○		
	②在庫管理(バキュームホース)を徹底し無駄を抑える。	○		
排 水	用 水 ・ 排 水	④節水の表示を行う	○	
		②蛇口の水漏れがないか確認する。	○	
		③水道を流しながら使用しない。	○	節水の表示
		④作業着などの洗濯時の節水に努める。	△	節水の表示
		⑤洗車時の節水に努める。	△	節水の表示
グ リ ン 購 入	①消耗品、事務用品はエコ商品を優先し購入する。	△	徹底を呼びかける。	
	②省エネ適合商品を購入する。	△	徹底を呼びかける。	
社 員 教 育	①環境関連セミナーに積極的に参加し意識を高める。	△	セミナーへのチェックを行う。	
	②朝礼、夕礼の場において社員に周知し理解を高める。	△	まだ周知度がたりない	

○:評価できる

△:まずまず評価できる。

×:評価できない

実施例



エコ運転講習



節水表示



ミスコピー対策



節電ラベル

(2)次年度の取組み内容

(1)	購入電力使用量	<ul style="list-style-type: none">・照明機器の清掃表を作成し、照明器の清掃を定着させる。・30年度を基準値とする。
(2)	ガソリン使用量	<ul style="list-style-type: none">・エコ運転を呼びかける。・30年度を基準値とする。
(3)	軽油使用量	<ul style="list-style-type: none">・エコ運転を呼びかける。・30年度を基準値とする。
(4)	灯油使用量	<ul style="list-style-type: none">・寒暖差のある場合の対応を検討する。・30年度を基準値とする。
(5)	L P G使用量	<ul style="list-style-type: none">・沸騰したらすぐ止めるを徹底させる。・30年度を基準値とする。
(6)	産業廃棄物排出量	<ul style="list-style-type: none">・バキュームホースの作業時の使用方法を確認する。
(7)	一般廃棄物排出量	<ul style="list-style-type: none">・ごみの分別を呼びかける。
(8)	総排水量	<ul style="list-style-type: none">・洗車時等の水の使用方法を考える。・30年度を基準値とする。
(9)	グリーン購入	<ul style="list-style-type: none">・事務用品のグリーン商品への購入意識を高めていく。

7 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。また、創業以来、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題がありませんでした。

8 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
1 環境方針	環境活動の意識はあるが、会社としての取組方をどのようにしていくか明確になっていない。 また、業務内容が変化した時の把握を出来るようにする。	エコ活動への取り組みを増やすことにより社員の意識を高める。
2 環境目標	業務内容の変化のより車両増加、走行距離の増加等のため燃料や電気等の増加が、考えられる。 30年度を基準値とし推移を見守る。	今後、車両毎の使用状況を集計するようになりたい。
3 環境活動計画及び環境経営システム	その他については、見直しを行わず、引き続き実行する。	社員のEA21の意義を周知されるようにする。
4 その他 ()		
<p>5 全体評価</p> <p>会社の全体的に各担当者と従業員との意識の差が出ている。環境について会社全体で意見交換を活発にし意識を高められるようにする。また、30年度の基準値を新たに制定したので今後の推移に注意していきたい。</p>		

9 廃棄物業関連・組織の概要(情報公開)

事業所名		花巻市清掃株式会社				
代表者名		伊藤 明子				
所在地		岩手県花巻市諏訪104番地1				
環境管理責任者		平賀 勝利				
エコアクション2.1担当者		小本 芳裕				
連絡先		電話	0198-23-4203	Fax	0198-24-3231	
		E-mail	hiraka@hanamaki-seisou.co.jp			
		UCL	http://www.hanamaki-seisou.co.com			
事業活動の内容		1. し尿汲取り 2. 浄化槽保守点検、清掃 3. 廃棄物系 (1) 一般廃棄物収集運搬業 (2) 産業廃棄物収集運搬業				
事業計画の概要		廃棄物の処理を通じて、資源循環型社会構築を目的とし、低炭素社会構築に貢献する。				
事業の範囲		主に花巻市一円				
事業の規模	事業年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	売上高(百万円)	242	248	261	271	
	産廃収集運搬料 t	173,764	97,846	179,434	160,122	
	一廃収集運搬料 t	25,156,912	24,843,580	24,056,76	20,622,309	
	従業員(名)	28	29	27	29	
法人設立年月日	昭和45年9月29日		資本金	30	百万円	
許可の内容	許可名/許可番号	年月日		事業区分、廃棄物の種類		
	産業廃棄物収集運搬業(積替え保管あり)	許可	平成30年2月17日	*産業廃棄物の種類 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラス、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 *積み替え・保管を含むもの (水銀使用製品産業廃棄物を含む。また、自動車破砕物であるものを除く。) 廃プラスチック、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(これらのうちガラスくず及び陶磁器くずに限る。)、がれき類 *別表(保管設備)		
		有効	令和5年2月16日			
	特別管理産業廃棄物収集運搬業	許可	平成30年5月13日	感染性産業廃棄物		
		有効	令和5年5月12日			
	一般廃棄物処理業	許可	平成30年4月1日	事業系ごみ、家庭系ごみ、し尿、浄化槽汚泥		
		有効	令和2年3月31日			
	浄化槽清掃業	許可	平成30年4月1日	花巻市		
		有効	令和2年3月31日			
	浄化槽保守点検業	許可	平成30年1月12日			
	有効	令和2年1月11日				
	許可					
	有効					
設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数
	バキューム車	3700kg	1	塵芥車	2050kg	1
	バキューム車	3700kg	1	塵芥車	1850kg	1
	バキューム車	3700kg	1	塵芥車	4150kg	1
	バキューム車	3700kg	1	塵芥車	4400kg	1
	バキューム車	3700kg	1	塵芥車	1950kg	1
	バキューム車	3400kg	1	塵芥車	4350kg	1
	バキューム車	3700kg	1	塵芥車	4100kg	1
	バキューム車	3650kg	1	リサイクル車	2500kg	1
	バキューム車	3700kg	1	普通バン	2000kg	1
	バキューム車	1800kg	1	普通バン	2000kg	1
	バキューム車	3652kg	1	ダンパー車	2500kg	1
	バキューム車	3400kg	1	キャブオーバー	3000kg	1
	清掃車	3400kg	1	脱着装置付コンテナ	3900kg	1
				保冷車	350kg	1

別表

1、岩手県花巻市諏訪104番1及び107番1

2、廃棄物処理施設等の設置の内容

(1) 積替え保管施設 37.881m²

(2) 保管設備 表

産業廃棄物の種類	保管高さ (m)	保管面積 (m ²)	保管体積 (m ³)	保管重量 (t)
廃プラスチック類	-	4.7512	3.24	-
金属くず	-	2.3756	1.62	-
ガラスくず、コンクリートくず (工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(これらのうちガラスくず及び陶磁器くずにかぎる。)	-	2.3756	1.62	-
廃蛍光管(廃プラスチック類、金属くず及びガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(これらのうちガラスくずに限る。))の混合物(水銀使用製品産業廃棄物)	-	2.3756	1.62	-
廃電球(廃プラスチック類、金属くず及びガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず(これらのうちガラスくずに限る。))の混合物(水銀使用製品産業廃棄物)	-	2.3756	1.62	-
がれき類	-	2.3756	1.62	-
合計	-	16.6292	11.34	-

受託した廃棄物の処理量

平成30年度

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
(i) 収集運搬	一般廃棄物(し尿・汚泥)	収集運搬	19,398.546
	一般廃棄物(その他)		841.819
	汚泥		5874.210
	廃油		135.610
	廃酸		0.170
	廃アルカリ		0.210
	廃プラスチック		134.980
	木くず		7.290
	金属くず		6.693
	ガラス陶磁器		10.303
	感染性		4.497
収集運搬量合計			867,391.509
(ii) リサイクル	段ボール		370.26
	新聞		10.930
	缶		12.630
リサイクル合計			393.82